

日頃の備えが

みんなで防ごう土砂災害
土砂災害防止月間
6/1→30
かけ崩れ防災週間 6/1→7

どしゃ さいがい ぼうし
土砂災害防止についての

おかしいと思ったら
早めのひなん
ぼしゅう

絵画・作文を募集します

どせきりゆう
土石流、地すべり、がけ崩れなどの
どしゃ さいがい
土砂災害のようすや砂防しせつ
さぼう
(砂防えん堤など)を見学したときに
みたこと、感じたこと、考えたことを
ドンドン送ってください。

「避難が被害を減らす」
宇和島市立吉田中学校
二年 幸洲 美嘉
朝のこたを、私は今も忘れることがで
た。昨年(ことごと)の七月七日、土曜日の朝、六時
も降り続いてきた雨が、昨夜はひととき
か。外の様子を見て来ると言っ
てきた父の、
う、少し、フ水が入
り、二階へ、
その直後、
は水浸し、
出来事だ、
う、
余裕が、
物はい、
ク、
た物は、
ク、

被災したかと思うこと
板城小学校 六年 永谷 心絆
田んぼが大きな川のように凄なり、道には
雨水やどろがたままり、地区が真、茶色な大き
な水たまりのよりにな、ていた七夕の日の景
色を私は今でも覚えています。
秋の住む地域は昨年のごう雨で被害を受け
ました。雨がふり続いてきた七月六日の夜、
いつも通り寝たが夕ごぼんを金ぐしていたら、
突然雨

応募について

ないよう おお
内容・大きさ

かき かつ おお
絵画のかき方、大きさは自由。作文は400字詰め
の原稿用紙で小学生
低学年は2~3枚(800~1,200字)、高学年は3~4枚(1,200~1,600
字)、中学生は4~5枚(1,600~2,000字)。
どちらも未発表のものに限ります。

おうぼ きかん
応募期間

ねん がつ にち がつ にち
令和2年6月1日~9月15日まで

おうぼ しかく
応募資格

しょうがくせい ちゅうがくせい
小学生・中学生

おく さき
送り先

じゅうしょ しめい ねんれい でんわ ほんごう がつこう めい がくねん きにゅう
あなたの住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学年を記入し、
と どう ふ けんちょう さぼう しゅかん か
都道府県庁砂防主管課
「土砂災害防止に関する絵画・作文募集」担当あて

しょう しょう
賞

さい ゆうしゅうしょう ゆうしゅうしょう
最優秀賞 / 優秀賞

はっ びょう
発表

ねん がつちゅう
令和3年2月中

ひょう しょう
表彰

ねん がつちゅう こくど こうつうしょうまた かくと どう ふ けん おこな
令和3年3月中に国土交通省又は各都道府県において行います。
れいわ ねん ど にゅうしゅうさくひん こくど こうつうしょう さぼう ぶん
令和元年度の入賞作品は国土交通省砂防部Webサイトをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_r1.html



どしゃさいがいのようす

土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となり、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となることが多いですが、地震だけでなく、大きな地震のあとには、地盤がゆるみやすくなっているため、少しの間や曇りでも土砂災害が発生しやすい場合があります。



がけ崩れ（斜面崩壊）

急な斜面が崩れる

- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大雨の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちで起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- くれれた高さの2倍くらいいどのところまで土砂がおそってくることもある。



土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる

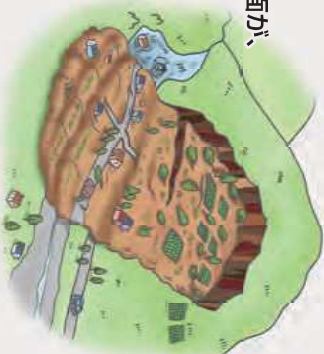
- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の前兆は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまふ。
- 雪どけ水で発生することもある。



地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く

- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といっしょに大地がゆっく動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。



河道閉塞（土砂崩れダム）

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 土砂ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 土砂ダムはやがて、たまった水のかたまりで一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せます。

がけ崩れの前ぶれ

- ① 川から小石がバタバタ落ちてくる。
- ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③ 斜面にひび割れがでる。
- ④ 斜面にひび割れがでる。



避難するの移動が困難な時は、川から崩れた土砂や石などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

身のまわりでこんな現象が起これたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

土石流の前ぶれ

- ① 川や沢の中でコロコロという音がしたり、火花が見えたりする。
→ 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ② 川や沢の流れがにぎり、生き物が流れてくる。
→ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③ 山鳴りがする、異常なおいかする、地鳴りがする。
→ 上流で山が崩れているため。
- ④ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→ 上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。



土石流から逃げる時は、川から崩れてくるべく高い所にあかろう。

地すべりの前ぶれ

- ① 池の水がにごったり、減ったりする。
- ② 山の樹木がサカサカとむくむく、木の裂けの音や木の根が切れる音がする。
- ③ 地鳴りや山鳴りがする。
- ④ わき水がふえる。
- ⑤ 地面にひび割れや段差がでる

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

近所にこういう看板はないですか？



このような看板が立っているところは、土砂災害の危険が大きい場所です。特に注意しましょう。

「土石流危険渓流」の看板 → 土石流の危険がある川や沢

「急傾斜危険区域」の看板 → がけ崩れの危険がある急斜面

「地すべり防止区域」の看板 → 地すべりが起きやすい区域